

鹿児島県立 楠隼中学校・高等学校 No.2

はんしゅん

2) 動線計画

- ① 既存校舎の最も近くに管理棟・食堂棟を配置します。
また、浴室棟は各寄宿舎棟から近い位置に配置します。
- ② 緊急車両、厨房への搬入車両、生徒たちの引っ越し時の車両等の動線を考慮し、管理道路を設けます。
- ③ 寄宿舎建物の中央部にメイン廊下を設けて、機能性を向上させ、非常時の対応や動線の集約を図ります。
- ④ メイン廊下は2階建とし、寄宿舎の2階に計画する学習室間も移動しやすいうようにします。
- ⑤ 寄宿舎棟1階には、災害時の避難を考慮し、4方向への避難口を設けます。
- ⑥ 車椅子等のバリアフリーに対応するために、管理棟にエレベーターを設け、寄宿舎外部にスロープを設置します。

3) 配置・ゾーニング計画

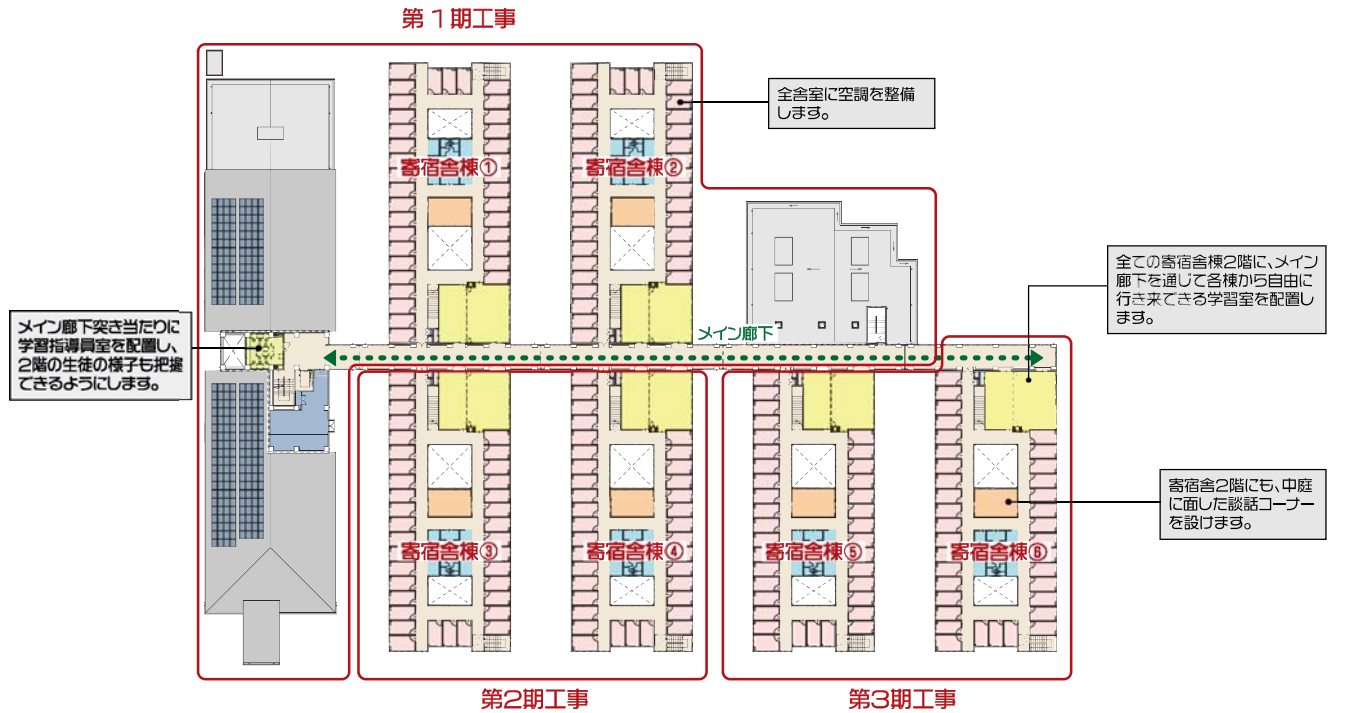
- ① グラウンドを十分確保できるように、寄宿舎施設は敷地西側にまとめて配置します。
- ② 寄宿舎は東西に長い形状とし、居室は南・北に面してレイアウトします。
- ③ 寄宿舎建物は、安全のために敷地境界の斜面地からできるだけセットバックします。
- ④ 運動会のテント使用を想定し、グラウンド周囲に30張のテントスペースを確保します。
- ⑤ 管理棟玄関横の10台の駐車場のほか、寄宿舎棟周辺に39台、厨房裏に11台、合計60台の駐車スペースを寄宿舎周辺に確保します。

4) 木材利用

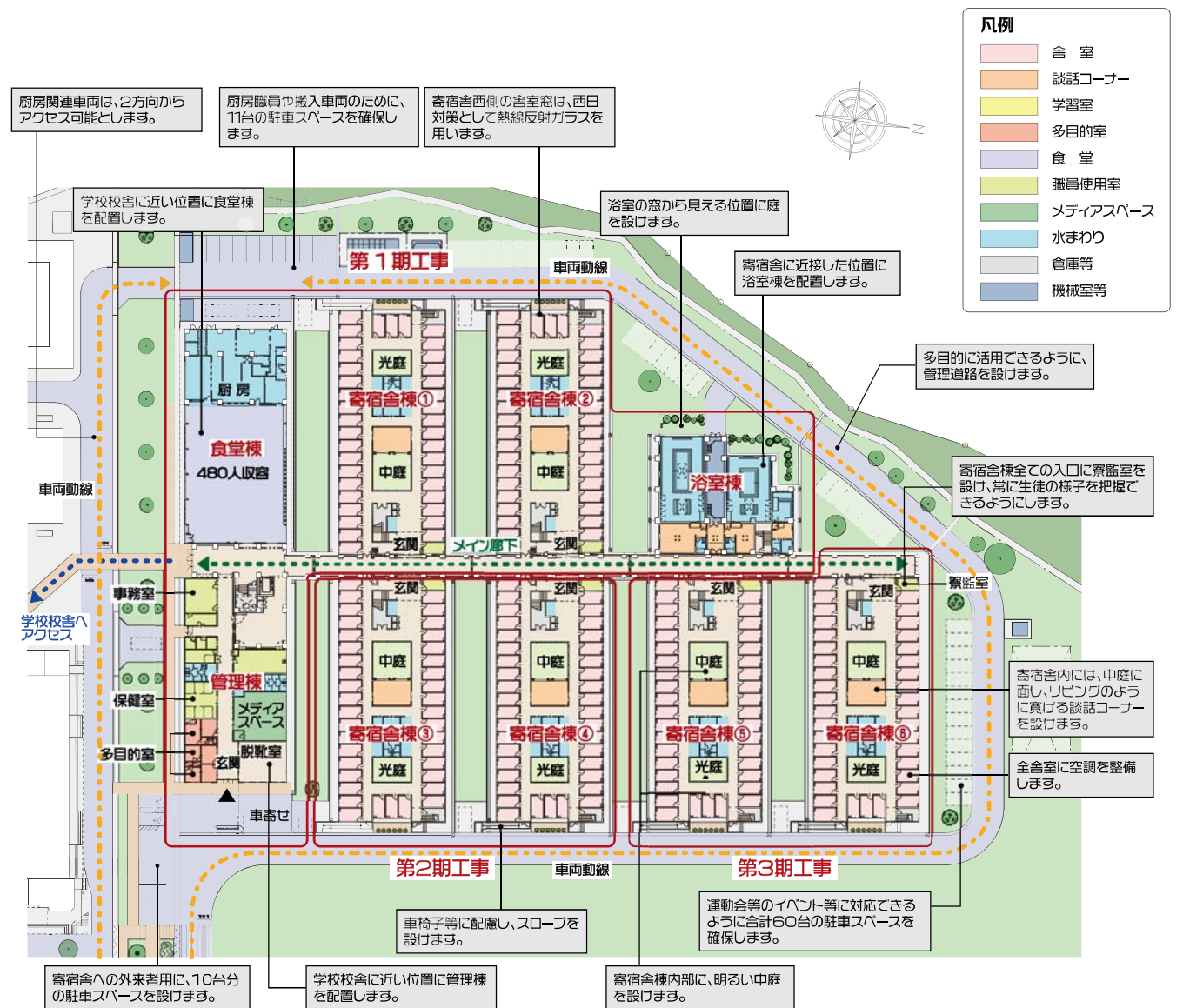
- ① 地域性豊かな温もりと安らぎのある空間を形成するために、県産材の持つ特性を十分に活かし、内装材の他、構造材・外構材等として活用します。
- ② 県内産業の振興を図るとともに、建築材料の生産・輸送段階におけるCO₂発生量(エネルギー消費量)を減らし、地域環境保全に貢献するために、積極的に県産材の活用を図ります。

5) 省エネ対策

- ① 屋根や壁の断熱化、窓ガラスは複層ガラスとすることにより、建物内のエネルギー負荷を低減することに努めます。
- ② 約290kWの太陽光発電設備を設置します。



寄宿舎2階平面図



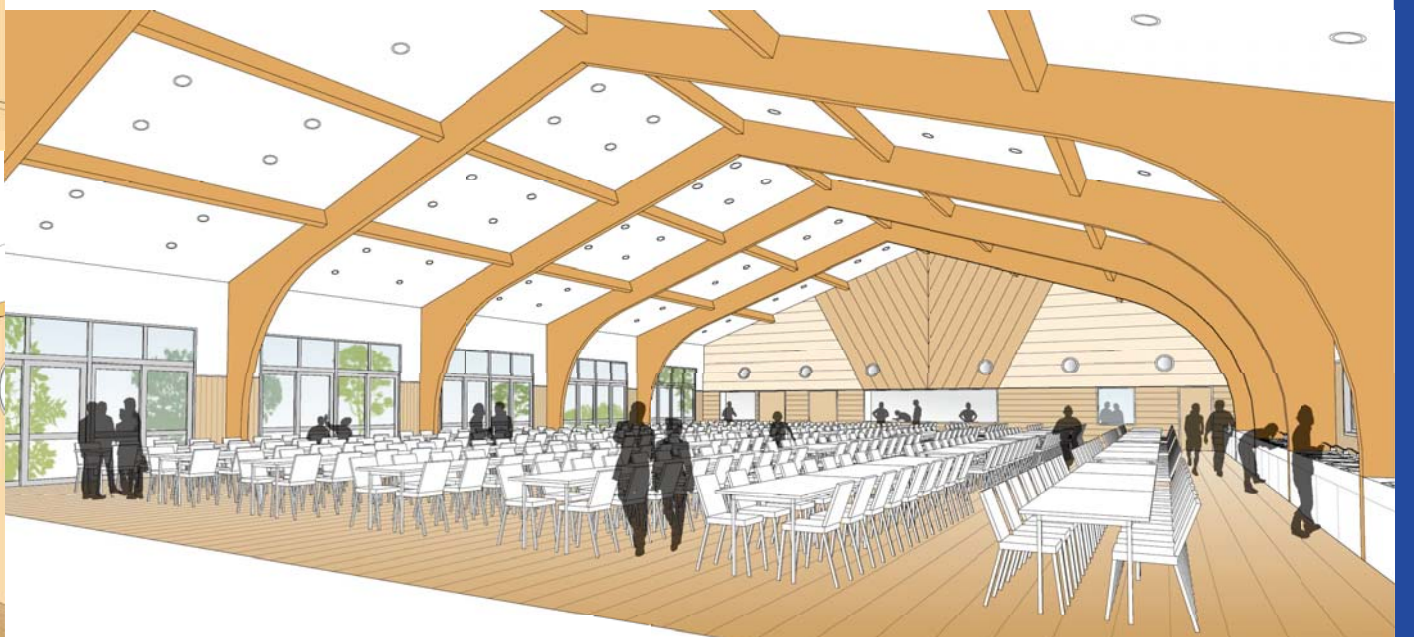
寄宿舎1階平面図



寄宿舎の居室内部イメージ



寄宿舎のエントランスホールのイメージ



寄宿舎の食堂内部イメージ